

去る6月30日に組合長に選任された中根でございます。杵築市で小型底びきり漁業を営んでおります。組合員の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

前任の山本勇氏は、16年9月の長きにわたり、漁協の組合長を勤め、全連の理事や副会長を歴任されまし。その経験や見識に学びながら、微力ではありますが組合運営に努めてまいります。所存です。役員各位には、特段のご理解とご協力をお願い致します。組合員の所得の安定と向上を図ることです。

本県水産業を取り巻く状況は、コロナ禍で外食需要が激減し、販売量が減少した。このため休業せざるを得ない漁

業者も出るなど、極めて厳
しい経営に直面しており、ま
す。いの減少による水揚げの低
迷が続き、養殖業では今期に
のモジャコの著しい不漁に
より、主力魚種であるブリ
の生産量の減少が危惧され
ます。このような状況下で組
合員の経営安定を図るために
は、前年に引き続き産地加
工を推進し、県産魚を学校
給食に供給したり、家庭消費
費を支える都市圏の量販店
にも販路を広げる等の取組
を進める必要があり、ます。
このため、行政や系統団体
商社等との連携を一層強固
なものとし、支援や協力を
求めてまいります。また、
直営店「おいさかなランド」
を活用し、地産地消、魚食
普及にも努めます。

す。漁協組織の再編が必要で、さらには喫緊の課題として、平成14年4月に県内の27漁協が合併し、全国に先駆け、本年は20年目の年を迎えています。この間、組合員の高齢化と減少が続き、合併当時には69%の人が27人（40%）と現任職員の数は合併時の83%となっていました。また、職員も進行し、正職員の数は合併時の83%となっていました。

なこのような状況下で健全な組合運営を図るためには総会の議決に従い支店及び取次店の店舗統廃合を推進するなどの組織の再編、合理化を図ります。

以上2点に加えて必要なのは、昨年12月に施行された改正漁業法等への適切な対応です。

資源の適切な管理、公認会計士の監査への対応と、それに伴う減損会計処理や自己資本比率の拡充、また、広域信漁連への参加の是非等については極めて重要な判断が求められます。行政や系統団体の指導も仰ぎながら、適宜的確に対応したいと考えております。

厳しさが増している状況は、漁業で生計を立てる組合員、皆様のために精一杯努めている決意を表明します。

任のご挨拶と致します。



は、全国豊かな海づくり大会
を迎えて行われる国民的行
事のひとつ。種苗放流等
「つくり育てる漁業」の推
進を通じて「水産資源の保
護・管理」と「海や湖沼・
河川の環境保全の大切さ」
を広く国民に訴え、我が国
漁業の振興と発展をはかる
ことを目的としている。昭
和56年に第1回大会が本
県鶴見町（現佐伯市）で開
催されて以来、毎各地で開
催されている。

近年、水産資源は減少傾向にあり、資源回復は国民的課題となりつつある。また、消費量も低迷している。水産物の本県において、同様の状況にあることから、今後、本県水産業の継続的な発展に向けて、県民に対して「つくり育てる漁業」を通じて水産業への理解を広く浸透させるとともに、水産物の消費を喚起させることが必要。

このため、本県における2巡目開催を早期に実現して欲しいと要望した。実現は本県で開催された第1回大会の記念誌などを見ながら「再び本県で開催できればたいへんに名誉であり、意義も大きい。県としても実現に向け努力したい。」と答えた。

本年度は、コロナ禍で1年延期となった第40回大会が10月3日に宮城県で令和4年度は兵庫県で、5年度は北海道で開催される。ことが決まっている。

就任ご挨拶



代表理事組合長
中根隆文

JF大分

水産おおいた

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>

豊かな海づくり大会の
早期招致を

大分県知事に2巡目開催を要望

中根組合長は7日、県庁に広瀬知事を訪問し、全国豊かな海づくり大会の2巡目開催を早期に招致するよう要望した。

6月30日に開催した本年度通常総会における特別決議を受けたもの。(第131号参照)



朝獲れ新鮮「水曜日」スタート

鶴見市場直送！朝獲れ新鮮「水曜日」が7日、おさかなランド3店舗で始まった。OPA店では初開催を記念し、田中利明佐伯市長と中根隆文県漁協組合長によるトップセールスや旬の地魚刺身3種盛りの無料配布を行った。

コロナ禍で都市圏の外食需要が落ち込む中、県内消費を喚起することを目的に、県漁協と鶴見地域創生支援協議会が共催し、これから毎週水曜日に定期開催する。

でか3ジ長ていおででし鮮のさ週い皆のくは美ら種、と下たいす水てで漁だ水た様朝、「挨拶味は盛マとさだし。産販お協タ曜だにど魚県捌し「りダもいきいど業売い直ウ日きぜれ種内にいコをイに「鶴うもしし営ン、たひのもで立「り薦、と漁見ぞ大まい店・大いた魚豊最つ「コめハ来挨拶の皆変す旬3明分。くを富もたやりたマ店捌者魚様苦。の店野オこさ、な水中はし。チ客。をを方しコ魚舗ア「れん大鶴揚根りておのに田応食にい口をでクパか食分見げ組佐新客刺マ中援べは状ナ厳、ロ・らべ市市が合伯鮮様身ア市して、況禍選新スお毎ての場多長

鶴見市場から直送・ランド3店舗

県南佐伯市、城下町として栄えた江戸時代から「佐伯の殿様、浦でもつ」と言われるほど、海の幸に恵まれた自然豊かな地域。鶴見地区では、まき網・船曳き網・小型底びき網・建網・一本釣り・定置網など多くの漁業が営まれている。昭和55年、当時の鶴見町が松浦漁港内に公設市場を開設。翌56年には、現在の上皇天皇陛下をお迎えした『第1回全国豊かな海づくり大会』が開催された。その後も『鶴見豊漁祭』として多くの来場者が賑わう鶴見地区を代表するお祭りでもあり、魚食普及PRイベントとして引き継がれている。水揚げは開設当初より年々増加し、昭和60年には47億円を超える取り扱いがあり、県内トップクラスの漁獲を誇る市場となった。水揚げ量の増加に伴い市場の拡張工事を実施。平成元年より公設市場では入札制度だけではなくセリ業務も取り入れ、衛生管理にも対応した市場施設の改良等も行い、今では県南各地から漁獲された魚介類が集まる市場になっている。

事えものシ
と、コ行魚エタ
し水口わをく刻
て曜ナれ使と食
定日禍た用も堂
着のの。しコ
さラ内 たラO
セン食 総ボP
たド需 菜しA
い定要 の、の
。番 販鶴マ
行捉 売見ル

夕刻食堂ともコラボ

水なル地 のの
産地マ魚物声魚
物魚エ握販がは
をがビリで聞
展並、やはかま
示ベイヤきれい
、らササビた「
即れキヒナ。な
売、なガゴ。ど
し鶴どニの 大
た見新、刺 好
。の鮮ク身 評

大分県 特産品 生

杵築ん鰹

別府湾の誇り高き男達の最高傑作。
鰹の天ぷら・湯引き・鍋ものは絶品。
料理の武器強れる上品な味をご家庭で。

大分お魚情報

魚種：ハモ（鰹）
産地：杵築産
漁法：底びき網
旬：6～8月、10～11月
調理：天ぷら・湯引き等

JA



の 1 製き 開いクし向県及るに響
P 売3 造・県催てス上内び。ハを新
O 場キし加漁し「バ1 及にイこモ受型
P に口た工協た杵リ7 びおオののけコ
をはを「処杵。築ユ日消けンた需「コ
設、販骨理築 ん県、費る九め要関ナ
置「売切施支 鰹内イ拡ハ州、が西ウ
し杵しり設店 フ1 オ大モが県低方イ
た築たハにの ャ8 ンをの連、迷面ル
ほん。モお荷 ア店・目認携県しをス
か鰹「い捌 「にマ的知し漁て中の
、「 約て をおッと度、協い心影



杵築ん鰹フェア開催

イオン・マックスバリュ県内18店

たし文地「等あ身 た接添す
い、化域県イのり等利。「付べ
。ハがを内オ評非に用。杵して
「モな除でン価常調者 築、の
とのいきは九をに理か ん消パ
話消。ハ中州い美しら ハ費ッ
し費継モ津のた味たは、者ク
て拡続を市担だだが、「にシ
い大的食等当いた鮮「対P
るににべの者たた度炙 Pし
。努販る一は。感 Rてル
め売食部、 「が刺



別府湾をクルーズ

に市役業営
つ場場の委中山
いにの現員松
て水松状長公
解揚澤にが夫
説げ京つ挨日
しさ子い撈出
たれさてし地
。たん説、区
魚が明地漁
介、。域業
類魚町漁運

うみんちゅ

海人教室開催

県漁協日出支店 大神魚市場

日出町子ども会育成会連合会は29日、早朝の大神魚市場で「夏休みこども教室」海人教室を開催。町内の小学生20名ほどが参加した。



市場の魚介類を解説する松澤さん

られ族良ら業てて類 湾吹隻興
え「といいに、漁や日クかの味子
れせと思たつ子船「頃ルれ漁津ど
ばりもいいいどへせ見「な船々も
大「に出。てもものりるズがにでた
きに大にま理た乗「機をら分見ち
なも神なた解ち船の会楽3乗学は
成参魚り、をに体様のし0し。「
果加市、夏深地験子なん分、次せ
だし場再休め元を、いだの海いり
。てをびみての通そ魚。別風で「
も訪家のも漁じし介 府に2を



参加者に挨拶する中山委員長

令和3年 8月2日(月)～8月15日(日)

完全予約制 令和3年7月26日(月)より受付開始
ご予約は各店舗にて電話にてお申ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止、延期する場合がございます。

もが厳も県 たを広分の参頭吉る「週は
苦、し低外吉。説瀬県松加、村。関間8関
境食い迷客村。明知庁本飲中恭2あ、月あ
に材経しが会し事と宗食根彰8じ大分日
立を営て激頭、、市三店「文分、市から
た生にい減は、意佐役代「県商実「11実
さ産直るし、気藤所表こ漁工委を25行
れす面。、コ込市を取つ協会委員開店日
てるし飲外ロみ長訪締こ組議員開催舗の
い漁て食食ナをに問役つ組議員開催舗の
業い店需禍をに問役つ組議員開催舗の
。者るは要でえ旨、大「長会のすで2会

が飲回5価販食に万た元売後のフ経民全
る食の0も売店、円も年実、行中エ済に国
も店「0キ「や価とのに績「政根の揚得
ので関円口がホ格3がはは関支組の趣にに
、のあま2落テが割、2、あ援合趣にに
と消じで9ちル安も昨億コじに長旨貢提ド
し費フ下0込向定減年4ロ「謝はを献供の
て拡エが0みけし少は千ナの意、説しし関
生大アっ円、のてし1万前県をコ明た、あ
産に「たか平「いた億円の漁表ロしい地じ
者つは。ら均注る。7あ令協しナた、元を
とな、今2単文飲特千っ和販た禍。との県

コロナ禍の漁業者・飲食店を応援
関あじフエア開催へ

広瀬知事、佐藤市長にPR

中根組合長、吉村会頭、広瀬知事、松本代表取締役



参加飲食店等の詳細は県漁協ホームページ INFORMATION まで

<http://www.if-oita.or.jp/>

水 研 だ よ り

北部水産グループでは、クルマエビの移動や成長を調査するため、眼にトラモアタグを装着したクルマエビの放流を実施しています。昨年度この標識により大分県下で放流を行った結果、周防灘で6月に体長5.3cmで放流したものが、7月に体長10.7cm、8月に13.0cmでどちらも周防灘で採捕され、翌年3月に伊予灘において体長17.3cmで再捕され、脱皮により標識が脱落することなく、また成長にも影響しないことが確認されました。放流効果や移動範囲など、これまでの方法に比べより効率的に結果を求めることが期待できます。

標識(写真)は、色鮮やかで認識しやすいものとなっていますので、標識エビが漁獲されましたら水産研究部または北部水産グループへご一報ください。よろしくお願いします。

なお今年度は以下のとおり標識放流を実施中です。

- ・宇佐 天然クルマエビ 1,500尾 赤、ID(識別番号)あり
※北部水産グループ実施
- ・杵築 クルマエビ種苗 1万尾 赤・青・黄・紫・白、ID(識別番号)なし
※北部水産グループ実施
- ・臼杵 クルマエビ種苗 1万尾 ピンク、ID(識別番号)なし
※臼杵支店実施
- ・佐伯 クルマエビ種苗 2万尾 橙、ID(識別番号)なし
※佐伯湾栽培漁業推進協議会実施

ホームページもご参照下さい→→→ [tps://www.pref.oita.jp/soshiki/1509](https://www.pref.oita.jp/soshiki/1509)

クルマエビの移動や成長等を調べるため
《眼に標識したエビ》を放流しています

標識は右眼か左眼のどちらかについています。

※2021年5月以降大分県および愛媛県にて放流予定



連絡先：水産研究部 資源増殖チーム (0972-32-2155)
北部水産グループ資源増殖チーム (0978-22-2405)

サカナをたべれば
幸福が見えてくる

ウオ
メシ



ランド 7月は 別府湾祭り



7月の「おおいた県産魚の日」は30日、ランド3店舗で「別府湾祭り」を開催。旬のハモや豊後別府湾ちりめんを好評販売した。



きうるA いス食のがれ うでれ本 @今
たン。に街う井。若らも美。、る稿身ラ回心
いチ大も中の+少い満3味 敢県を内ンはに
。に分利はも別食皆足0し え職昼ネド「残
是市用人良腹のさの0い て員飯タ〇シる
非内客流いスおん味円の 宜ものでPラー
ごでががカイ姫なだ台で 伝い参恐Aスウ
利の戻増も!様ら!とあ さる考縮店井オ
用ビりえ。ツは両働おる せとにで。&メ
いジつ、な、方き手。 てのしあ 海シ
たネつ〇 んシで盛軽い もこてる 鮮ー
だスあP てラーりなず らとくが 巻、

い頂しら人波 を者断ト提 をたる手パ
。くい情教多「祈のをが案商増株一のラ賛
水取報室野杵り収許スが議しが方成が否
産組を「マ築た入さタあ所て猛、績ス両
研にいはいんい確な!りかい威都がタ論
究感た上ケ鰻。保いと、るを市良!が
部激だ野タフ に状し2 関。振圏いと渦
に!い日!エ つ況た週あ るののし巻
も。た出かア なた。間じ い感でたく
感毎。支ら「 がが大のフ、染嬉。中
謝月素店、は る、分イエ 深はし日で
し寄晴長「県 こ漁もベア 刻デく本オ
た稿らか海の と業予ンの さるな選リ

編集後記

第22期 第3回 大分海区漁業調整委員会開催

28日、県水産会館5階研修室において、第3回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案「伊予灘協定海域内におけるたろうお浮きはえなわ漁業の禁止について」、第2号議案「豊前海におけるあさりの採捕の禁止等について、など8議案が上程され、いずれも承認された。第5号議案「広域漁業調整委員会委員の選出」では、9月30日で任期満了を迎える瀬戸内海広域に藤本、本庄、太平洋広域に小野眞、濱田の4人の学識委員が互選された。

大分県JF共済推進本部 第2回運営委員会開催

30日、県水産会館4階会議室において、県JF共済推進本部 第2回運営委員会が開催された。コロナ禍の開催であり、共水連本所の高田代表理事専務ら3名はWebで参加した。

議事(1)では、共水連大分事務所に中根隆文本部長(県漁協組合長)が推薦された。議事(2)では、推進専門委員として、豊前海、東郡及び別府湾から各1名、北郡及び南郡から各2名の支店長が選任された。

その他、6月末実績報告等が行われ、承認された。